

会員の皆様

ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご厚誼を賜り、ここに厚く御礼申し上げます。

香港日本語教育研究会は 1978 年の創立以来、在香港日本国総領事館をはじめ、国際交流基金、各日本関係団体・機関の皆様からのご指導とご鞭撻、そして会員の皆様の温かいご支援に支えられ、香港における日本語教育の普及と促進に努めてまいりました。また、世界各国・地域の日本語教育・日本研究関係者との学術・教育交流にも力を注ぎ、香港と世界をつなぐ架け橋として活動を続けております。

微力ではありますが、日本語教育の発展に寄与できますのは、ひとえに皆様のご協力の賜物であり、ここに衷心より御礼申し上げます。2025 年度も、多岐にわたる事業を無事に実施することができました。

3 月には、国際交流基金さくらネットワーク助成を受け、「日本語教育と生成 AI」をテーマとした講演会及びワークショップを香港大学と共同開催いたしました。日本から専門家をお招きし、最新の日本語教育における生成 AI の研究動向や教育実践を共有する大変貴重な機会となり、参加者の皆様からも高い評価をいただきました。目まぐるしく進化する AI が教育にもたらす未曾有の可能性について、多くの示唆に富むご助言を頂戴することができました。

5 月には「第 20 回香港小中高生日本語スピーチコンテスト」を開催し、4 部門で合計 25 名の小中高生が入賞しました。香港の若い世代が日本語で堂々と発表する姿に、改めて日本語教育の広がりと可能性を感じました。

6 月には、学会誌『日本學刊』第 28 号を刊行し、香港及び海外の日本語教育・研究機関、並びに会員の皆様に送付いたしました。

また、7 月と 12 月には 2025 年度第 1 回及び第 2 回の日本語能力試験(N1～N5)を香港・マカオで実施し、年間応募者数は 1 万 5 千名を超えました。毎回の試験が円滑に実施できたのは、協力団体及び会員の皆様のご尽力のおかげであり、ここに深く感謝申し上げます。

さらに、7月には第15回日本語成績優秀者奨学金及び日本研究関係プロジェクト賞の書類審査と面接を実施し、9月に授与式を挙行了いたしました。奨学金は高校生6名、副学士課程の学生5名に授与され、プロジェクト賞は副学士課程の学生3名に授与されました。2025年度までの奨学金受賞者数は高校生72名、副学士課程の学生66名、プロジェクト賞受賞者は144名と117名に達し、香港の若者たちが日本語や日本文化に対して深い関心を抱いていることを改めて実感いたしました。

また、香港で日本語教育に従事されている方々のご要望に応えるため、国際交流基金から派遣された日本語教育専門家田邊知成先生のご協力を得て、10月より「2025-26年度集中日本語教師研修」を実施いたしました。研修生の皆さんが熱心に学びを深められ、香港の日本語教育を支える人材育成において意義深い取り組みとなりました。

11月には、国際交流基金の助成のもと、香港大学專業進修学院及び現代語言及文化学院と共催し、第14回国際日本語教育及び日本研究シンポジウムを開催いたしました。「生成AI時代の日本語教育と日本研究」をテーマに、香港内のみならず、日本をはじめ海外から多くの研究者が参加し、個人発表100件、グループ発表20件という大規模な学術交流が行われました。活発な議論が交わされ、大変意義深いシンポジウムとなりました。

さらに、研究会は「日本語教育グローバルネットワーク（GN）」の一員として、日本をはじめ世界各国の日本語教育専門家・研究者と、各地域における日本語教育の諸課題について継続的に交流と情報交換を行ってまいりました。

語学の学習は、異文化理解への重要な一歩であり、寛容な心と広い視野を育むための不可欠な営みです。最終的には、和やかな社会と平和的な世界を築くための基盤となるものと信じております。本研究会としては今後も、日本語教育の普及と促進に尽力し、香港のみならず世界各国・地域との学術・教育交流を通じて、新しい時代の日本語教育の発展に寄与してまいりたいと存じます。

最後になりましたが、2025年度の多様な事業が順調に実施できましたことは、理事・委員・事務局の皆様の献身的なご尽力、そして会員の皆様の温かいご支援があってこそです。加えて、在香港日本国総領事館をはじめ、国際交流基金、日本関係各団体・機関の皆様のご指導とご支援に、改めて深く感謝申し上げます。

引き続き、変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025 年度（2025 年 1 月 1 日～12 月 31 日） 研究会の活動報告

- 2024 年 9 月 21 日～2025 年 5 月 17 日、2024-25 年度集中日本語教師研修を開催しました。
- 3 月 15 日及び 16 日、日本国際交流基金さくらネットワーク助成により、「日本語教育と生成 AI」の講演会及びワークショップを香港大学日本研究学科日本語プログラムと共同開催しました。

【講演会】：3 月 15 日

演題 I：「生成 AI と言語教育 ―学習者にとって意味のある学習環境のデザインに必要なこと―」

講師： 高橋 薫 准教授
(創価大学学士課程教育機構 准教授、 総合学習支援センター副センター長)

演題 II：「生成 AI と著作権 ―類似性・依拠性の観点から―」

講師： 我妻 潤子 先生
(東京藝術大学非常勤講師、株式会社 IPRhino 代表取締役 知的財産アナリスト)

【ワークショップ】：3 月 16 日

演題 I：「生成 AI で変わるライティング授業 ―新しい学習環境をデザインしよう―」

講師： 高橋 薫 准教授
(創価大学学士課程教育機構 准教授、 総合学習支援センター副センター長)

演題 II：「生成 AI で教材作成！ 著作権の基礎も学べる実践型ワークショップ」

講師： 我妻 潤子 先生
(東京藝術大学非常勤講師、株式会社 IPRhino 代表取締役 知的財産アナリスト)

- 3 月 22 日、香港日本語教育研究会第十六回総会を開催しました。
- 5 月 11 日、「第 20 回香港小中高生日本語スピーチコンテスト」を開催しました。
- 6 月、『日本學刊』第 28 号を出版し、会員に郵送し、香港及び海外の日本語教育・日本研究関係機関に送付しました。
- 7 月 6 日、香港・マカオで 2025 年第 1 回日本語能力試験 (N1～N5) を実施し、応募者数は 7,763 名でした。

- 7月19日、副学士課程の日本語成績優秀者奨学金及び日本研究プロジェクト賞候補者の面接を実施しました。
- 8月2日、高校の日本語成績優秀者奨学金及び日本研究プロジェクト賞候補者の面接を実施しました。
- 9月13日、高校及び副学士課程の日本語成績優秀者奨学金ならびに日本研究プロジェクト賞の授賞式を行いました。
- 2025年9月20日～2026年5月9日、2025-26年度集中日本語教師研修を実施中で、研修生が10名です。
- 11月22日及び23日、国際交流基金の助成により、香港大学專業進修学院、香港大学現代語言及文化学院と第14回国際日本語教育及び日本研究シンポジウム「生成AI時代の日本語教育と日本研究：その歴史と本質の再考（Japanese Language Education and Japanese Studies in the Age of Generative AI: Recapturing their History and Essence）」を共催しました。

【基調講演】：

演題 I: 「生成 AI 時代の日本国内の日本語教育政策の現状と方向性」

講師： 真嶋 潤子 教授（大阪大学名誉教授、国際交流基金 関西国際センター所長）

演題 II: 「ニューロロボティクス研究による人工及び人間の心の探究」

講師： 谷 淳 教授（沖縄科学技術大学院大学 認知脳ロボティクス研究ユニット教授）

演題 III: 「オーセンティシティーを重視した寛容性：北東アジア史における日本の固有名詞の扱い方」

講師： 金 由美 准教授（香港大学 文学院現代語言及文化学院准教授）

演題 IV: 「留学生教育の視点から考える AI 時代の日本研究」

講師： 加藤 均 教授（大阪大学名誉教授、大阪大学日本語日本文化教育センター特任教授）

【発表】：（個人）100 件・（グループ）20 件

- 12月7日、香港・マカオで2025年第2回日本語能力試験（N1～N5）を実施し、応募者数は8,124名でした。

【理事会】

毎月定例理事会を開催、理事による審議・討論を経て、会の運営等について決定しました。2025年度は計10回の会議を実施しました。

【月例会】

土曜日午後 2 時～4 時、当研究会事務所ホールまたはオンラインにて、講演、ワークショップ、フォーラムなどの形式で実施しました。講師は香港及び海外で高等教育、中等教育、日本研究に携わっている方々でした。

2025 年度は計 5 回開催しました。

- 1 月 25 日、「日本への進学——日本升學講座」。講師：Ms. Maggie Lau と留学経験者
- 2 月 15 日、「公文式で学ぶ日本語：6 ヶ月間の成果発表」。講師：季久祚、魏冰、劉婉彤
- 6 月 28 日（オンライン）、「日本語教育機関認定法」と「登録日本語教員」。講師：小林学
- 10 月 11 日、「HKUST における日本語教育とテクノロジーの融合——マイクロラーニングとデジタルアセットによる持続可能なコース設計——」。講師：平田昌之
- 12 月 13 日、「日本への進学——日本升學講座」。講師：Ms. Maggie Lau と留学経験者